

釧路市立青陵中学校学校だより 令和7年 月 日 ()
青陵の心 ◇教職員・生徒・保護者 学校評価アンケートの集計と評価・分析◇「後期」

4点満点

	教 員 ア ン ケ ー ト		平 均		生 徒 ア ン ケ ー ト		平 均		保 護 者 ア ン ケ ー ト		平 均		評 価 ・ 分 析
	評 価 項 目		後 期	前 期	評 価 項 目		後 期	前 期	評 価 項 目		後 期	前 期	
満 足	生徒の主体性や自己肯定感を高め、生徒が学校に通うことに満足できる教育活動を実践している。		3.1	3.1	学校生活が楽しく、満足している。		3.4	3.4	青陵中の教育活動に満足している。		3.1	3.2	生徒たちは概ね学校生活に満足し、満足度の低い生徒には、進級を景気に新たな気持で登壇できるようにしていく。
			青陵中を誇りに思っている。		3.3	3.3							
キ ャ リ ア	自立した大人を意識させた、教育活動を行っている。		3.0	3.1	自分の将来の姿（自立した大人）について考えている。（考えるようになった）		3.2	3.1	学校は、お子さんに適切なキャリア教育（自立した大人を目指す）に取り組んでいる。		3.0	2.9	自立した大人の具体的なイメージをより持たせられる、教育活動を継続していく。
							お子さんと、将来について話し合うことがある。		3.2	3.3			
学 力 向 上	生徒と生徒、生徒と教師の対話を重視し、主体性や個性を尊重した授業を行っている。		3.1	3.2	主体的に学習に取り組んでいる。（生活全般）		3.1	3.1					引き続き「学ぶ意味と学ぶ楽しさを感じられる授業」に取り組んできた。授業では必ず生徒同士が交流する場面を設定し、学び合いができるようにしている。クロームブックの持ち帰りも含め、計画的な家庭学習に取り組めるよう工夫をしていく。ご家庭の協力も必要である。読書習慣については、小中連携して取り組んでいる。個人差が大きい。学校や家庭で、本との出会いの機会を増やすなど工夫も必要である。
	生徒の学習状況を把握し、多様な生徒への学習方法の工夫をしている。（IGT以外）		3.0	3.0	授業で「わかった」「できた」を実感できている。		3.3	3.3	授業で、お子さんに基礎的な知識や技能を習得させている。		3.0	3.0	
	授業で「個人思考」や「集団思考」の場を設定している。		3.3	3.5	授業ではじっくり考えたり、考えを交流する場面がある。		3.5	3.4					
	生徒の学習状況を把握し、多様な生徒への学習方法の工夫をしている。（IGTに関して）		3.2	3.2	授業でタブレットを使用することにより、学習がしやすくなっている。		3.5	3.5	お子さんは、自学の方法を身につけ計画的に家庭学習に取り組めるようになってきた。		2.7	2.6	
指 導	計画的に学習ができるように、授業のまとめ等を工夫するなど自学の方法を身に着けさせる工夫をしている。		3.0	2.9	計画的に家庭学習に取り組んでいる。		2.8	2.5	家庭では、お子さんに読書に取り組むように働きかけている。		2.3	2.3	本校では、教科指導と生徒指導を切り分けて考え指導するのではなく、教科指導と生徒指導を一体化させて指導することを心がけてきた。生徒指導の考え方を取り入れ、授業を充実させることが、子ども一人一人の可能性を最大限に伸ばすとともに、生徒指導上の諸課題の未然防止にもつながると考えます。
	読書の意義や楽しさを伝える工夫をしている。		3.1	2.8	家庭でも読書に取り組んでいる。		2.4	2.2	お子さんは、家庭での役割を持ち責任ある行動をとっている。		2.9	2.7	
生 徒 指 導	生徒が、主体的に活動ができる場を工夫している。		3.3	3.3	主体的に生活を送ることができている。（生活全般）		3.4	3.4					引き続き生徒と保護者にますます信頼される学校を目指し相談しやすい雰囲気づくりを引き続き高めていきます。
	学級活動や学校行事等で役割を自覚させ参加させることができている。		3.5	3.5	学校生活の中で自らの役割をもち責任を持った行動ができている。		3.4	3.3					
	自ら考え、選択し決定させる場を設定している。		3.2	3.3	自らの考えを活かした活動ができている。		3.3	3.2					
	生徒の共感的で好ましい人間関係を育てる支援や指導を行っている。		3.3	3.3	認め合い、思いやりを持った言動や行動ができている。		3.4	3.4					
	日常から生徒に対する賞賛や激励を意識して行っている。		3.3	3.5	良い人間関係を築くことができている。		3.4	3.5	お子さんと、コミュニケーションを積極的に行っている。		3.5	3.5	
	いじめを決して許さない集団づくりに取り組んでいる。		3.6	3.6	「いじめは絶対に許されない」と思う。		3.8	3.5	お子さんは、「いじめは絶対に許されない」と思っている。		3.8	3.8	
生 活	自己存在感を高めることを意識した生徒理解に取り組み、安心感・安全感を与える生徒指導を行っている。		3.2	3.3	協力し活動することができている。		3.6	3.5					生活習慣についても個人差が大きい。SNS等の乱れた使い方に伴い、生活リズムが崩れたり、自校だけでなく他校の生徒とトラブルになるケースが見受けられた。家庭の協力を得ながらルールの徹底を図っていききたい。
	生徒指導のルールをよく理解して組織的に指導を行えている。		2.9	3.3	自分を大切な存在だと感じているか。		3.2	3.1	お子さんは、日常的に挨拶がしっかりとできている。		3.2	3.3	
	生徒・保護者とコミュニケーションを図り、信頼関係が築けている。		3.1	3.1	先生に学校生活や将来のことなどの不安や悩みを相談しやすい。		3.2	3.1	学校は、生徒や保護者の悩みや不安を相談しやすい雰囲気があり、適切に対応している。		3.1	2.9	
安 全	基本的な生活習慣を確立させるため、計画的、継続的な指導を行っている。		3.3	3.3	規則正しい生活を送っている。		3.2	3.2	お子さんは規則正しい生活を送っている。		3.0	2.9	学校での防災・減災指導を引き続き行っていく。
	体力向上のために授業や部活動以外でも、日常的に体を動かすように働きかけている。		2.9	3.0	授業や部活動等以外でも運動するように心がけている。		3.1	3.0	家庭では、お子さんに、日常的に運動するように働きかけている。		3.0	2.9	
情 報	朝食を食べるようにしている。				朝食を食べるようにしている。		3.6	3.6					重要かつ必要な情報が伝わるよう工夫して行く。
	安全に対する適切な判断力・行動力を育成する指導をしている。		3.3	3.4	学校で地震や火災等が発生した時の対応や避難方法を理解している。		3.5	3.6	家庭で、お子さんと災害時について話すことがある。		2.9	3.0	
各種お便りやホームページ等で情報提供を適切に行なっている。		3.4	3.5	学校・学年・学級だよりを読んで必要な情報を得ている。		3.2	3.2	各種お便りやホームページで学校の情報がよく伝わっている。		3.4	3.4		

○ 保護者からの声 ○ (自由記述より一部ですが記載させていただきました) ○ 学校より ○

3年間1日も行きたくないということなく楽しく学校も部活も通わせていただきました。それも時には厳しい先生達のご指導のおかげだと思います。ありがとうございました。	本校では生徒たちを「未来を幸福に生きることのできる自立した大人」に育てるために、各教育活動を行って来ました。主体的に学習や生活こ取り組ませ、他者と関わりの中で認め合いながら自己有用感を育ててきました。また、行事を通して生徒たちの主体的に物事に関わろうとする姿をご覧いただいたのではないかと思います。次年度も引き続き、全教職員で生徒たちを育てていきます。
子供たち一人一人の将来や事情を加味して色々と考え指導していただいていると感じます。問題が小さいうちから、しっかりと対処していただき安心した中学校生活を送れてきました。子ども達を信じ、これからの未来を、担う子ども達が、私達大人を信じ安心して、学校生活が送れるよう、見守って頂きたいです。	生徒たちの未来に必要な資質・能力に関しまして、引き続き授業の充実を目指して行きます。また、ICTの活用や、授業の中で、何ができるようになったか、どこがわからなかったのかを振り返る時間を設定するなど、宿題の他にも主体的な家庭学習のヒントとなるよう工夫して行きます。
学力点が年々低くなってきたと噂で聞いてますので、1年から向上出来るように、復習プリントや何か傾向と対策を出出来る資料が欲しいです	説明不足や時期の遅れについて申し訳ありません。今年度より、生徒たちの活動等を見直し、従来の活動にとらわれることなくより本校が目指す生徒像に迫るため教職員間で話し合いを進めています。通知表の所見につきましては、教育相談・面談の充実を図り学校での様子をご家庭に伝えることで所見の代わりとしていきたいと考えています。次年度は丁寧に説明してまいりますのでよろしくお願いいたします。
来年度、専門委員会がなくなるなど、大きく変わることは、PTA総会や学級懇談会などで、事前に保護者にも学校側から話してもらいたいです。通知表の所見が無くなることは配布された当日か前日にメールで連絡がくるのは、遅すぎると感じました。	配付物については、メールで配信を基本としています。どうしても印刷物で配付を依頼されるときもあります。その場合配付物と補助的にメールでも配信させていただいていました。
メールで流れてる内容のプリントは不要です、資源と税金の無駄だと思います。	